

レポート

生まれ変わる熊本駅舎・周辺

熊本の玄関口もリニューアル



▲熊本駅舎東口。北東側から撮影。駅前の中心部から陸橋がかかっている



東口の中央部から延びる陸橋。エレベーターや自動エスカレーターも完備された。

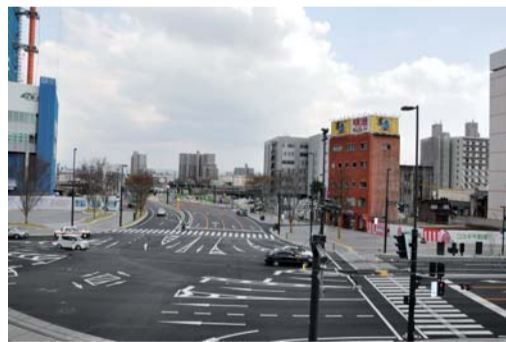


九州新幹線熊本駅舎と周辺を望む

▲熊本駅西口。通称新幹線口と名付けられた。駅前は整備が完了したが、その周辺（写真左側など）ではまだ工事が続いている



▲東口の道路を隔てたところに建設中の再開発ビル「くまもと森都心」



▲東口正面から市街地方面へ伸びる産業道路。従来に比べ車線も拡幅。右側の交差点角にあったビルも現在は取り壊され更地になっている



▲北側から南向きに撮影。東口前の広場と円形状の天井がかかった市電乗り場



▲熊本駅南方の田崎橋近辺。右側に市電の電停が、左側の大きなビルが新合同庁舎A棟。熊本市二の丸から一部移転。B棟は左側手前の空き地に建設予定。



▲熊本駅の南口周辺。タクシーの待機所が右側に、左側にバス停が設けられている。左奥に駅舎がある

九州新幹線の全線開業に伴い、熊本の玄関口・熊本駅舎および周辺のリニューアル工事もほぼ完成。熊本駅東口前は広場を中心として電停、車両の乗降場などが整備された。東口には駅通りを越える形で新たに陸橋がお目見え。陸橋に上るためエレベーターと自動エスカレーターも新設完備され、向かい側に建設中の「森都心ビル」へ直行できる。周辺整備に伴い、バス乗り場は東口の北側と南側に移設された。

また、新幹線口となる西口にはバス乗り場や車両の乗降場が設けられたほか、これまでなかった広場も姿を現した。さらに、現在も駅前ではアクセス道路を含め整備工事が進められている。